

「日本はいつから米国の ミサイル基地に?」

「総がかり」・「軍拡 NO!」全国連は 新署名よびかけ

20 日、「従属の代償～日米軍事一体化の真実」の著者・布施祐仁さんを迎えての第 48 回全道基地問題交流集会在札幌市でひらかれました。

「日米軍事一体化の行方とトランプ 2.0」と題し講演した布施祐仁さんは、2 月 7 日の石破・トランプ共同声明での「抑止力・対処力をさらに強化」「台湾問題」言及の宣言と共同演習などの「現場」で急速に進んでいる軍事一体化＝「自衛隊の米軍一部化」の実態とその危険を指摘。北海道のミサイル部隊も加わって行われた去年のキーン・ソード演習(写真)などに触れながら、「日本はいつの間にか米国のミサイル基地になったのか?」としました。(講演写真)

オンライン参加を含めて 90 人が参加した交流会。「日常に入り込む戦争の影」「自治体による自衛隊への名簿提供問題」(新日本婦人の会北海道本部)をはじめ、矢臼別など、各地からの報告・交流が。「草の根」の平和のたたかいが交流されました。

総がかり実行委が 19 行動。「税金はくらしへ」署名推進のつどい



東京ではその前夜 19 日、総がかり行動実行委員会が「憲法いかせ！軍拡反対！The END 自民党政治 3・19 国会議員会館前行動」を行い、600 人が参加。それに先立って、「大軍拡反対 請願署名推進のつどい」が行われました。菱山南帆子共同代表が主催者あいさつし「長射程ミサイルが九州に 2025 年度末から配備される」



「危機感を共有し『大軍拡反対署名』を広げていこう。SNS でデマが拡散されている中、署名の対話運動が大事」と呼びかけました。(左の写真は署名推進用新リーフ)

「もう誰も殺すな!」/パレスチナ写真展・23 集会へ!

イスラエル軍によるガザ攻撃再開に抗し、札幌チカホでは今日午後から「パレスチナ写真展」が始まりました。23 日までの 3 日間(モンベルそば)最終日は集会も!

●もう誰も殺さないで! パレスチナの命を救え! 3/23 札幌駅前集会へ! 午後 1 時から

